

大人のまちの楽しみ方～自分発『アソビノベーション』入門

大人塾土曜コース 第12回

講座タイトル：「ふりかえり」

平成26年11月15日（土） 10:00～12:00

会場：セシオン杉並 於：視聴覚室

学習支援者 広石

このコースでやったことは、遊びです。今日は、遊んだ時間を振り返ってほしいです。大人塾にしかできないことってなんだろうと模索してきました。教えることではなくて、遊ぶ中から感じたことを共有してもらいたかったのです。いくつか、テーマをお伝えするので、それに即した形で、みなさんの遊びと振り返りを聞かせてください。まず、事務局の瀬山さんにとって、印象的だったことは？

杉並区社会教育センター 瀬山

11月1日のイベント、前日に怪我をして途中からの参加でしたが、率直に遊びの可能性を強く感じました。みなさんの顔が、輝いていたのが印象的でした。ダンスをしているときも、入りたかったくらいです。じゃんけん大会も盛りあがっていて、みなさんの意外な一面も見られました。遊びって、すごくないがしろにされたり、他愛もないと思われがちですが、裏に隠された大きな力を感じました。「社会を変える」「つながりを作る」と言わなくても、楽しいという気持ちに気づいたら、つながりができてくるのでしょうか。

学習支援補助者 斉藤

見ている周りも楽しくなるのも良かったですね。筋肉痛になる機会は大人になると、そんなにないですもの。

学習支援者 広石

僕は、沖縄タウンが印象的でした。沖縄に行った気になるという何気ない企画でしたが、みなさんがすごく遊んでいるのが伝わってきました。日常の中で、みんなが出来ると思ったから、たくさんの方が企画に賛同して集まったのだと思います。

僕たちが「これからの日本の経済を考える」という対話をした時、ホームページのアクセスはたくさんあっても、対話の場には人数が集まりませんでした。

これからの経済に関心があっても、対話に参加して発言するのは難しそうだな、と感じるのだなと考えました。企画を立てる時に、凝ったことをしがちですが、実は小さいことや日常の些細なことの方が、人がきて、遊べたんだなと思いました。

遊びイコール仕事じゃない、まじめじゃないのが遊び、と思われています。否定系の遊びではなく、生活の中でこんな遊びがあったと話して欲しいのです。最後は、アソビノベーション宣言です。わたしは、こう遊ぶと宣言しながら、考えてほしいです。それでは、発表をお願いします。

- ①あなたにとって気づきや得たことは、なんでしょうか？
- ②それは、どんな体験から？
- ③生活や仕事の中で、どんな「遊び」が求めていると思いましたか？
- ④これから、あなたはどう遊びますか？
- ⑤最後に「アソビのベーション宣言」

参加者

いままで、交流させていただきありがとうございました。大人塾から気づいたことは、自分の企画としては、「初めての乾杯！パスポート」を作ってみました。当日の天気や集客のこともあり、臨機応変の大切さ、失敗体験からドキドキもワクワクも楽しめました。成功は、喜んでメッセージを書いてもらったことです。今後も、この企画を続けようかなと思っています。失敗としては、空欄のペーパーが残ったことでした。ひとり遊び、ひとりがまちとつながれる場所を求めているように思えます。ひとりカラオケも、流行っていますよね。これも、可能性のひとつだと思います。当日は、じゃんけん大会が印象的でした。なみ語という別の遊びが加わり、相乗効果で、すぎなみじゃんけんが生まれました。その場で出たのが面白いです。遊び同士のかけ算の面白さを感じました。これからは、ひとり飲み、ひとり遊びができるお店の探検をしたいです。まずは、自分でやって、広がるように実験していきます。

参加者

印象的だったことは、フォークダンス。息切れしながらやっているのが印象的でした。子供のときはよくやっていたのに、大人になっても集団での遊びは楽しいんだなと気づきました。仕事の中で遊びを取り入れたいです。ビジネスモデルをマンガで説明したり、場がなごむのではと思います。これからも、遊びがないときも、遊び心を忘れずにいきたい。

参加者

ジェンガを踊ったのは、生産性とは関係ないのですが、楽しかったです。一体感ですね。子供の頃は集まってから、何して遊ぶというカタチでしたが、大人は目的を作って遊びます。これは仕方ないですね。

同じことの繰り返しだと、何のために生きているかわからなくなりますし、同じ発想しかできなくなります。そんな時に、遊びだと思います。自分の世界を広くし、面白く思えることが、まわりにも伝わるのでしょうか。

参加者

真剣にふざけていることが重要だったと思う。遊びや笑いは、半端ではなくてトコトンやる。生活の中での遊びですが、やりたくないことをやりたいようにするのが遊び。杉並区の図書館を回るのは大変なのですが、どうしたら楽しく回れるのかをずっと考えて、今回の企画になりました。自転車では仲間が集まらなかったのですが、バス周りでは人が集まった。遊びはゆるやかにはじまり、結局は命がけになるのだと思います。

参加者

土曜の朝を有意義にすごせたらよいなと思って参加しました。いろんな企画をして、たくさん賛同してもらったりしてとても楽しかったです。みなさんの遊びに参加して、まぜてもらおう楽しさも感じました。生活の中での遊びだと、忙しいと遊びに向かなくなります。遊ぶ余裕がなくなるのでしょうか。大人塾があったことで、自分も遊びの時間が作れました。これからも、遊びに誘ってください。よろしくおねがいたします。

参加者

飲み会にいける仲間が欲しくて来たが、飲み会よりも楽しいことがあると気づきました。いろんな企画に参加して、準備の大切さ、楽しさを感じました。体力の低下も感じましたが、身体を動かすと楽しいことわかりました。敬語がないと、一気に近づく。なみ語の良さだと思います。お気軽な集まりをかけた、かけられたりしたらよいな。自分も勇気をだして、企画を出したいです。

参加者

半端ない遊びを体験したのがよかった。自分も、周りも一生懸命に遊んでいるのに気づいた。自分も遊びモードに簡単に切り替えられる。実は、その切り替わりは一瞬なんだと分かりました。ノイズという言葉があって、違和感があるものが存在することで、逆に余裕がでたり、自由になる。楽しいとか、コミュ

ニケーションが欲しいというのが遊びの入り口なのかもしれません。ハンドルの揺れる余地があるように、自分も揺れるようになればと思います。

参加者

遊びを通じたコミュニケーションについて感じました。職場と友人としか交流がなかったのですが、一人旅が好きで出かけることもあります。まったく違う環境で話す機会になるから好きなのでしょう。大人塾を通じて、年齢職業関係なく話せたのは、まるで一人旅の時のようです。わざわざ旅行にいかなくても、こんなに近所で出来るんだと思いました。お店の人や近所の人に話しかけたことはなかったのですが、実は、そういう交流も遊びなのかなと思います。これからは、身近にいて、接触がなかった人にも話しかけようと思います。

参加者

これまで、自分で何かを企画する時は友達2～3人の閉じた感じだったのですが、今回の企画で15人ほど来てくれました。喜びというか驚き。これって、大きな力だと思いましたし、みなさんが楽しい企画をまっているんだなと気づきました。その時が、私にとっての大人塾に参加した本当の楽しさが動き始めた瞬間です。大人になると楽しさがマンネリになってしまう。そういうときこそ、遊びをいれる時ではないでしょうか。自分の身近から、新たな風をふかせることが、自分ができる遊びなのかなと思います。自分が楽しまないで遊びじゃない。自分も周りも笑顔にさせたいです。

参加者

自分が思ったことをどんどんやってきたが、みんなでやると化学変化や気づきが多くなり多様化するとわかりました。遊びには失敗はないです。どういう捉え方も、どうにでもなる。いろんな形になる。独りじゃできないのです。遊びは発想の転換。遊びはノイズなので、大切にすると、仕事も生活も円滑になるのでは。自分のスタイルを押しだけでなく、共存することで開ける時もあるんだなと気づきました。

参加者

朝から集まって、ぶっつけ本番でやりました。遊んでみると面白い！他人の遊びからも学びが多かったです。これから講師をする時には、遊びを取り入れてみるのが良いと思いました。年をとっても、地域で遊びたいです。遊ぶ場所がたくさん見つかりました。ありがとう。

参加者

いろんな遊びに混ぜてもらいました。楽しく参加させてもらって嬉しかったです。遊びの反応をみていたが、いざ自分が遊びを考えると大変。これからは、できるだけ楽しく、日常の中で遊びができたらと思います。田舎の実家が空いているので、田舎に来たい方はぜひご連絡ください。いまはすごく寒いので、本当は夏に言えばよかったですね。

参加者

遊びを企画したことがなかったので、たくさん参加させていただきました。最初は不安でしたが、打ち合わせをすると、もっと面白くするために真剣に考えていました。笑が多かったなあ。自分が企画したことが、グループのみんながやってくれたのが有難かったです。企画段階の打ち合わせが楽しかったです。大人塾をこえて、またみなさんとお会いして、一緒にやれたらと思います。

参加者

杉並で知り合った人たち、発表の場があることが良いなと思っています。気づきなんです、自分に無い柔軟さ、知識、経験を感じることができました。継続して参加するのは良いなと思っています。杉並のホイジンガーを目指したい。

参加者

イベントにでられなかったので、残念です。杉並区にはいろんな施設があって、もっと活用していきたいと思いました。地元面白い人が大勢いるので、もっと会っていききたいと思います。まだ遊び足りないの、大人塾にもう1回参加したいです。企画があったら、ぜひ誘ってください。

参加者

1回目の遊び企画の時、他の人の企画をみても、あまり興味を覚えなかったですが、実際に参加してみると、楽しかった。そこで、自分でも企画しようと思ひ、空き缶倒し選手権をしました。自分でやってみて、盛り上げる人、参加する人、たくさんの役割があって、支えられているのを感じました。これまで、企画する人が偉いと思っていましたが、盛り上げる人の方が大事なんだなと気づきました。カンカン倒しがオリンピックになれるように作っていききたいです。杉並フェスタでも出来たら良いな。

参加者

遊びを学ぶと言っても、どういうことをやるのかわかっていませんでした。講

師も手探りなのも感じましたが、遊びを思いっきりやって、仲間づくりをしたことから変わりました。やりたいという気持ちを持った人が集まると、こんなに動くのだと思いました。やっつけでも、やってみる、仲間を作る。独りでは止まりますが、誰かとなら出来ることもあります。生活の中で、自由な思いつきができる環境が素晴らしいです。思いつきを口にできる仲間、そういう機会が大事なのでは。一緒に考えるマインドを家族や職場でできるのは良いと思います。家から、常識から、自分を否定する気持ちから飛び出していくのが宣言です。

参加者

いろいろ参加したのですが、眠っている遊び心を刺激すると、こんなに変わるのだなと思いました。日常でやらないことを取り入れると、互いを知っている期間は短くても、関係が密になる。メンバーの潜んだパワーを感じました。私は、遊び心を取り入れながら、人を褒める企画をしたのですが、自分がイメージしていたのと違ったようになったが楽しかった。当初の、自分の意図とは違っても、楽しいんだなと気づきました。少しの遊びと、がつつりの遊びを生活に取り入れられたら良いな。誰か誘いたいときは、気軽に声をかけてみます。

参加者

参加するだけでしたが、やってみて本当に楽しかったです。ついていけるか不安でしたが、最終回に到達し、新しい自分の誕生を感じました。これからは、もっと違う方向性を模索していきたいです。これが、遊びと思っています。町でまた会いましょう。よろしくおねがいたします。

参加者

企画からでも、参加からでも、イベント途中からの合流でも、どこから参加してもアウェー感がなかったです。遊びは、どこからでも入れるのが遊び。遊びがあるから、コミュニティが生まれると体感できました。地域や仕事に遊びを取り入れられた良いなと思います。視点を変える、多様な価値を見いだすのが生活の遊び。人生を使い倒す機会をみつけて、楽しんでいきたい。一日一遊び。常に遊びを心がけたいです。アソビノベーションは、スタートです。ぜひ、杉並区で、また遊びの場を広げていきたい。

参加者

人見知りでも遊べるんだなと気づいた。人見知りの人にとっての街が、遊びで広がるんだな。遊びを考えるのも遊び。終わったあとも遊びが続く。生活の中

での遊びは、普段自分のためにやることを他人のためにやること。他人をまきこむ企画も考えていきたいです。楽しむために、人のために何かをすることであるんだなと気づきました。毎日、世界を遊ぶ気持ちで生きたいです。

参加者

印象が遊ぶごとに変わり、誰の中にもある無邪気さを感じました。遊びは子供っぽいのではなく、大人だから遊べる。交流から、自分自身についても気づきました。自分発見です。社会人であるからこそ、他の人の経験や知性を感じ、驚きました。仕事の中では、ほっとできること、垣根ができること、お互いがゆるくなることから、遊びが生まれるのではないのでしょうか。みなさんと出会えたのが良かったです。みなさんとの交流をとおして、これからも遊びをやっていきたいです。

参加者

杉並の風景や人から、歌を作ってみました。音楽が出来る人が集まって、レコーディングもして、CDにしたいです。題字も、習字が得意な方がいらっしやるので書いて欲しいです。アソビノベーション歌も作りました。

「♪ああ、今日も、またみんな遊びに行くんだー。アソビノベーション♪」



学習支援補助者 齊藤

地域活動をしていると、とても積極的ですなと思われがちですが、私自身は、ちょっと面白いことがあると、ついていく感じで、積極性のあるほうではあり

ません。積極性がないことをネガティブに感じるのではなくて、周りで楽しむ人、アイデアをとってくれる人、やれる雰囲気を作ってくれる人も大事なのです。旗を建てるひと、旗に向かっていく人も良いかなと思っています。補助者としてフォロワーとして遊ぶ。ただし、お客さんではなくて、自分も遊ぶ意志で参加します。これからもよろしくお願いします。

学習支援者 広石

人の遊びに混ざるのが楽しいって、よい言葉ですね。企画する人が偉い雰囲気が多いのですが、みんなそれぞれの役割がある。そして、役割分担を考えなくても、できちゃうのは良いなと思います。目的がないと集まらないのが日常。それを乗り越えることがテーマでもあったのでしょうか。みなさんが体験してくれたことがうれしかったです。

人々が地域生活の中で学ぶ場がなぜ必要なのか。学校教育に対して言われたことは、北欧のフォルケホイスコーレ（民族高等学校）から来ています。デンマーク国民の父と呼ばれる N. F. S. グルンドヴィが提唱したのですが、ラテン語を暗記する教育が高等教育なのか？それでは、一部の人しか学べないではないか。生きた言葉による対話。競争とセットではない教育。試験ではなく、自由、協同、そして発見の精神が大切なのではないだろうか。

さらに、自分で考える機会、方法、考えていることを表現することを知らないと、選挙や民主主義が権力者にとられてしまいます。

P e d a g o g y は、学び手は教師から指導してもらうべき生徒。A n d r a g o g y は、学び手は自分の意志や自分の学び方をもった参加者として参加する。大人塾のチャレンジとしては、参加者が「みんなの中に眠っていること」が大事なんだよと気づく機会を提供することでした。

住民が主役なのです。行政が作っていくカタチから、自分たちで作っていくようになるにはどうしたらよいのか。今の社会は、ルールや制約が多いですね。その中で、生きた言葉による対話をするには、どうしたら良いのか。民主主義を活かすために、もっと遊ぶ。遊びを増やせるかどうか、日本の経済、未来を左右するのではと思います。こうすることで、本当の民主主義が生まれるのでしょうか。とても楽しい時間をどうもありがとうございました。それでは、成果発表会でお願いします。

